

## 【ジェンダー論講座・後期】

◆科目名：ジェンダーと文学 b

Gender and Literature II

◇副題：フェミニズム/ジェンダー文学批評

◇概要：フェミニズム/ジェンダー批評史を踏まえて、サブカルチャーとされてきた文学ジャンルや漫画、アニメ、映像を研究対象とした論著・評論・論文を読解し、その方法を学ぶ。

The main aim of this course is to enable students to acquire knowledge or skill of analyzing various literary genres, such as film, girl's novel, opera, and manga, through theories of feminist/gender criticism. Additionally, students will deepen understanding of the roles of women in wartime described in those literary genres. Reading articles or viewing images and discussing them will be the main part of this course.

◇担当教員：星野幸代 (HOSHINO Yukiyo)

◇開講時限：前期火曜 3 限

◇教室：(後日公表する時間割表で確認して下さい)

◇目的・ねらい：

- 1、フェミニズム/ジェンダー批評史を踏まえて、サブカルチャーとされてきた文学ジャンルや漫画、アニメ、映像を研究対象とした論著・評論・論文を読解し、その方法を学ぶ。
- 2、戦時下の女性に関する文学・論著を読み、議論を通して理解を深める。
- 3、多元的理解：フェミニズム/ジェンダー論を介して多様な他者の文学・文化解釈を受容し、討議することを通じて、文学・文化分析に必要な思考の柔軟性を訓練する。

◇履修条件等：特になし

◇講義内容：初回ガイダンス：後期の授業全体について説明、担当者決定。

(1) ウォーミング・アップ・ディスカッション

映画『キャロル』 トッド・ヘインズ監督 2015、米英

第二週目にディスカッション・ポイントを示したレジュメにそって鑑賞します。その後メールでショート・レポートを提出して下さい。第三回はそれをもとに討論します。

(2) 理論書、論文、文学作品読解及びディスカッション

受講者はそれぞれ担当日(担当順)と担当テキスト(「教科書・参考書等」に挙げるテキストから自由選択)を決め、以下の要領で授業に加わります。

担当者の役割：①レジュメを作成して配布 ②40分前後で発表する。

レジュメ作成のポイント：①論旨概要を節毎にまとめる。②論旨理解の上で重要な作家、作品、理論のうち解説が必要と判断したものについて簡単に説明を附す。③自分の疑問点・意見、皆で議論したい点をディスカッション・ポイントとして2点以上提示。

担当者の発表後：参加者全員で担当者の挙げたポイントについて討論します。

◇教科書・参考書等：

\*順不同。書籍を挙げてある場合は、受講者の興味関心により1, 2章を扱いません。

長谷川啓「記憶の伝承—津島佑子『葦舟、飛んだ』にみる“疎開・引揚げ”」

長谷川啓「忘却への抗い—林京子の原爆文学・金原ひとみ『持たざる者』にみる“核”の恐怖」

北田幸恵「在日、家族、居場所探しの物語—柳美里『フルハウス』『ファミリー・シークレット』」

岩淵宏子「現代社会の闇を撃つ—石牟礼道子『苦海浄土』『椿の海の記』」

(以上、水田宗子ほか『現代女性文学を読む 山姥たちの語り—フェミニズム/ジェンダー批評の現在』アーツアンドクラフツ 2017)

上野千鶴子、蘭信三、平井和子編『戦争と性暴力の比較史へ向けて』岩波書店 2018

田中俊之『男がつらいよ 絶望の時代の希望の男性学』角川書店 2015

宇野常弘「宮崎駿と「母性のユートピア」」『母性のディストピア』集英社 2017

須川亜紀子「笑い、デタッチメント、そして快樂——女性エッセイマンガのジャーナリズム的機能とその可能性」『女性マンガ研究——欧米・日本・アジアをつなぐ MANGA』青弓社 2015

◇授業期間中の課題：ショート・レポート1回、論文担当1回

◇成績評価の方法：①上記(1)のショート・レポートの提出+討論への参加(30%) ②(2)の担当による発表を一回。以上を必修条件とし(50%)、授業中の積極的な発言や討論への貢献度を20%程度として、総合的に評価する。

◇注意事項：

◇オフィスアワー：随時、下記メールアドレスでアポイントを相談。

◇連絡先：[hoshino@lang.nagoya-u.ac.jp](mailto:hoshino@lang.nagoya-u.ac.jp)